

「失敗から生まれたもの」 ～ ある日の記録 ～

年長 すみれぐみ・すずらんぐみ

- 楽しみながら雑巾掛けをする年長児。

Tくんは「(園内E)キレイにするぞ!!」と張り切り、一人で体育館の雑巾掛けをしようと考えた。水をこぼさない様、慎重にバケツを運んでいたが、重さに耐えかね水を全部こぼしてしまった。(あ〜)体育館には池の様に大きな大きな水溜まりが出来、Tくんは途方に暮れた。



- クラスのお友だちに状況を伝えると、皆すぐに駆けつけてくれた。起きたことを、自分のことのように考えて行動する姿をTくんはジッと見つめていた。友だちの優しさを静かに受け止めている様に見えた。

Tくんのしたことを指摘するお友だちはおらず、皆が水を拭き取ることに一丸となり取り組んでいた。

ほぼ拭き終わった頃Kさんがツルツル光る床を見て「氷みたい*」と言いつつ、スケートの様に滑り始めた。Kさんのフロアの発想で場が一気に楽しい空間になった。



- 「自分が失敗したこと」、「友だちが失敗したこと」、相手の立場になって考えること、友だちの優しさを感じることができたと思う。

失敗を恐れず やってみること。出来なかったら、どうするか考えること。豊かな発想でマイナスをプラスに変えられる!!

失敗を恐れず、色々なことに挑戦していこうね↑